

リアルタイム現地情報

令和5年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催しました

7月12日(水)、普及センターは令和5年度銚田地域水田農業経営研究会現地研究会を開催し、水稻生産者10名が参加しました。

はじめに、銚田管内のイネの生育状況把握のために設置している定点圃場や、新規に開発された肥料や除草剤の効果を確認するための技術確認圃場、米粉用米の安定多収栽培を確立するための調査圃等5か所で現地検討を行いました。参加者は現行肥料より軽量化されている新規肥料や米粉用米の品種特性についてとても興味を示していました。

また、JA全農が提供している営農管理システム「Z-GIS」について、担当者から説明してもらい、その概要や実際の操作方法等を学びました。参加者からは、「自分以外の家族や研修生と圃場の状況を共有できる点が良い」や「今作の収穫時に試してみたい」等の感想があり、関心の高さが伺えました。

普及センターでは、今後も水田農業における省力化やコスト低減を推進し、儲かる農業実現に取り組んでいきます。

銚田地域農業改良普及センター（儲かる農業）



除草剤技術確認圃場での現地検討



営農管理システム「Z-GIS」の操作方法を学んでいる